

中島たくや新聞

第9号 特大版



市政活動に全力投球!!

市議員3年目。
徹底した行財政改革を訴え続けております。

25年度の予算案に反対いたしました。それは、公務員の給与を維持するために、将来の借金返済のための積立金を**93億円**も取り崩したからであります。政治が未来に責任を持たなければ、子どもたちの未来はありません。行財政改革は待たなし。本号では議会論戦の一部をご紹介します。是非、ご覧ください!!

議会報告
京都市財政について
京都党がなぜ一般会計予算案に反対したのか
財政のポイントを分かりやすく解説

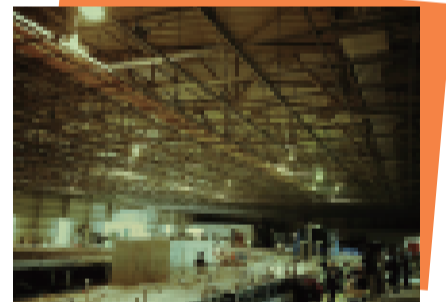
喝
三重行政のムダに喝!
建設局に怒りの鉄拳
どうして、いつまでも看板が古いままなのか...
その理由を探ってみると、ここにも三重行政の問題が浮上
そのムダをなくすためには?

生まれ変わる八条口 / 新交通案内システムが誕生 / ジェネリック医薬品の通知事業がスタート

活動写真



南部グリーンセンターを視察



京大防災研究所を視察



松尾大社の登山道を清掃



京都マラソン、ボランティア活動



唐橋消防団員での活動



福岡市視察



地域政党「京都党」 マニフェスト大賞受賞

京都党とは
平成22年8月、堀場製作所創業者、京都市元副市長、大学教授、前市議員などと結党した地域政党。
平成24年11月、優先順位を明確化した政策提言がマニフェスト大賞を受賞。現在、市議4名。
市民主導の政治を目指し、しがらみ政治を一掃中。

- | | | |
|------|------|----------------|
| 最高顧問 | 堀場雅夫 | 株式会社堀場製作所創業者 |
| 顧問 | 渡邊隆夫 | 京都府中小企業団体中央会会長 |
| | 高木壽一 | 元京都市副市長 |
| 政策顧問 | 村田晃嗣 | 同志社大学学長 など |

左：村山しょうえい、中：北川正恭氏(早稲田大学教授)、右：本人

生まれ変わる八条口——地下式駐輪場が誕生!!——

八条口は京都市の玄関のひとつ。その八条口が生まれ変わる。バス待ち環境や駅前広場の整備をはじめ、大幅なリニューアルを予定している。その目玉のひとつが地下式駐輪場だ。京都市初の整備となる。地下式駐輪場は国内外で評価が高い。

しかし、問題は建設費だ。八条口の場合、その費用は、621台で4億5千万円。1台あたり約72万円なのだ。利用料だけでは維持費しかまかなえない。建設費は税負担となる。不足する駐輪場の建設費はだれが負担すべきだろうか。今後の自転車政策を考える重要な視点だ。
(平成24年6月21日 まちづくり委員会)

新交通案内システムが誕生——もっと乗りやすくなる公共交通へ——

都市計画局は、バス、鉄道などの総合的な公共交通案内システムを開発中。予算は約1億円。現在の「洛ナビ」(交通局)の機能を大きく上回る予定。「歩くまち京都」を展開するには、わかりやすいルート検索システムが必要不可欠だ。しかし、市バスをはじめ、

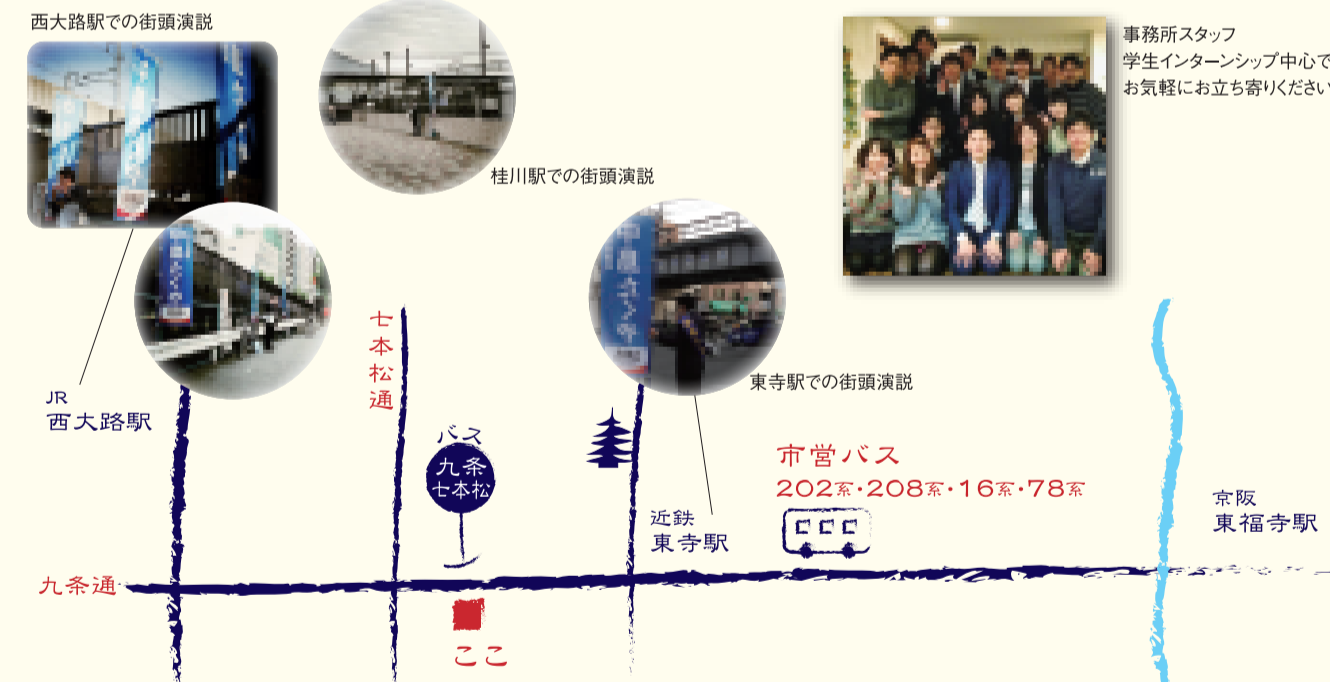
まだまだ使い勝手のよい検索システムがない。京都にあるべき検索システムを予算委員会において、都市計画局と交通局の双方に要望した。その機能のいくつかが実現をする見込み。リリースは間もなく。皆様、ご期待を！
(平成24年3月6日、平成25年2月28日 予算委員会)

ジェネリック医薬品の差額通知事業がスタート—2億円の医療費削減効果あり

国民健康保険は27億円の黒字(平成23年度)となった。しかし、この黒字にもカラクリがある。一般会計から多額の公費が投入されているのだ。その額はなんと147億円!! だからこそ、医療費の適正化が重要な課題だ。この医療費の適正化にはジェネリック医薬品の差額通知事業が効果的だ。この事業は、ジェネリック医

薬品に置き換えた場合にどれだけ医療費が安くなるかを通知するサービスだ。昨年の決算委員会で提言した。医療費の削減効果は年間2億円。今年の8月末からの実施の予定!!
(平成24年10月4日 決算委員会)

事務所のご案内



事務所スタッフ
学生インターンシップ中心で賑やか
お気軽にお立ち寄りください



中島拓哉事務所
京都市南区唐橋堂ノ前町1
(九条七本松東入ル、九条病院を西に180m)

110 075-691-5991 FAX 075-320-1385
info@nakajimatakuya.com
HP http://nakajimatakuya.com

<<経歴>>
昭和58年12月13日生まれ(本籍地:南区唐橋)。同志社大学政策学部卒(一期生)。金融分野のITコンサルタントを経て、京都党の結党に参画。平成23年4月、4,073票を頂き初当選。

<<役職>>
京都党政調会長。まちづくり委員会副委員長(平成23年度)。交通水道消防副委員長(平成25年度)。